



台風シーズンを前に **連携を深める**



▲結構重い。でも頑張るぞ！小学生も力になります！

市建設業協会の安全・防災訓練が6月29日、ふれあいパークみので開催され、約150人の会員が参加しました。
建設業協会と市は、平成18年に「災害時における応急対策業務の実施に関する協定」を締結しています。毎年、台風シーズン前のこの時期に訓練を行い、災害時の土砂の撤去や資材の運搬が安全かつ確実にできるよう役割分担を確認し、協力体制の強化を図っています。



目に見えないことを **想像してみよう**

瀬戸内海底探査船美術館プロジェクトの一環として、アーティストの日比野克彦さんによる、講演会とワークショップが7月3日、詫間小学校で開催されました。
講演会で日比野さんは「目に見えるものだけでなく、想像することの大事さ」を児童に語りかけました。



講演会に続いて、2年生を対象に行われたワークショップでは、海辺などで拾ってきたものをスケッチし、「これは何で、どこから来たのか」など、日比野さんのアドバイスを受けながら、児童らは自由に想像し、発表しました。

みとよHOT
ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは
市ホームページで

女性の視点で地域防災
女性消防団誕生！！



市消防団で初となる女性団員への辞令交付式が、6月21日、ふれあいパークみので行われ、14人の女性団員が誕生しました。
式では藤川淳一消防団長が任命書を交付し、「女性特有のきめ細かな視点と感性を生かした活動に期待しています」と訓示しました。

三豊市消防団
女性消防団員辞令交付式



女性団員となった岩本仁美さんは「女性ならではの視点を最大限発揮するほか、活動を通じて地域コミュニケーションの活性化や子どもたちへの防災精神の継承を図っていきたいです」と意気込みを語ってくれました。
今後、皆さんは災害発生時の避難者誘導や避難所運営などの被災者対応にあたるほか、日頃は応急手当や防災教育などの防火・防災の啓発活動に取り組みます。



▲左から日比野克彦さん、木村衣里さん、松田唯さん

▼島の皆さんは“竹のオブジェ”で歓迎



今年も芸術家がやって来た！
ようこそ！栗島芸術家村へ

今年で6年目を迎える栗島芸術家村の入村式が7月3日、日比野笑学校（旧栗島中学校）で行われました。昨年に引き続きアーティストの日比野克彦さんが総合ディレクターを務め、2人の芸術家が創作活動に取り組みます。
今年で2年目となる松田唯さんは、「島の人の意見や提案を積極的に取り入れて、昨年の作品から発展させていきたい」と、初参加の木村衣里さんは、「あまり表に出ていない島の魅力を引き出していければ」と抱負を語ってくれました。
栗島の皆さんに温かく迎えられた若手芸術家は、これからアート作品を制作しながら、ワークショップや成果発表会を行う予定です。

